

国土交通省 北陸地方整備局
配付資料

配付日時	平成29年12月20日
扱い	本紙配付を以て解禁

平成29年度 第3回 北陸地方整備局 新技術活用評価会議 を開催します ～公共事業等の新たな技術の活用と普及にむけて～

北陸地方整備局では、公共工事等への有用な新技術の活用促進を図ることを目的として、「平成29年度 第3回 北陸地方整備局 新技術活用評価会議」を下記のとおり開催することとしましたのでお知らせします。なお、評価する案件は下記に示す4工法となっています。

- 開催日時 平成29年12月22日（金） 13:30～15:30
- 開催場所 北陸地方整備局 2F 港湾海岸電算室
(新潟市中央区美咲町1丁目1番1号(新潟美咲合同庁舎1号館))
- 議題 事後評価について
 - ピーシージョイントRE-2型 HK-120009-A
 - キョーリョッカー21工 SK-110011-A
 - アライド CG-120016-A
 - ハーフパイプ工法 KT-120016-A

※ 詳しくは、NETISホームページをご覧ください。
(NETIS HP: <http://www.netis.mlit.go.jp/NetisRev/NewIndex.asp>)
- 留意事項
 - ①報道関係者は、腕章又はネームプレート等(報道関係者と判断できるもの)の着用を必ずお願い致します。
 - ②取材・撮影は評価会議冒頭の「座長挨拶」までとし、審議中の取材・撮影はご遠慮願います。
- その他 評価会議における評価結果および活用促進技術の指定の結果は、会議後必要な手続きを経て、後日上記HPに公表します。

【同時発表記者クラブ】
新潟、富山、石川県内
その他・専門紙



問い合わせ先
国土交通省 北陸地方整備局
TEL: 025-280-8880 (代表)
企画部 施工企画課長 堤 (内線 3451)

■平成29年度第3回 新技術評価会議 審議技術一覧表(事後評価)

No.	技術名称	開発年	登録年度	登録番号	分類	申請従来技術	技術概要	説明写真	開発会社 (会社所在地)
事後評価1	ピーシージョイントRE-2型	2011	2012	HK-120009-A	河川海岸 - 軟弱地盤上における柔構造樋門・樋管	コンクリート構造物用後付け式ゴム伸縮可撓継手	<p>本技術は既設コンクリート構造物目地部に発生する変位を、構造物の内面から伸縮部材を設置して吸収する技術である。</p> <p>本技術の活用により、部材から孔加工を無くしたことによる止水性の向上と押え板の改良による施工時間の短縮と材料コストの縮減が期待できる。</p>		西武ポリマ化成(株) (東京都中央区日本橋3丁目8番2号)
事後評価2	キョーリックカー21工	2003	2011	SK-110011-A	河川海岸 - 多自然型護岸工	張芝工(野芝・高麗芝)	<p>本技術は、生育上のストレスに対し高い耐性を持った野芝と補強繊維ネットを絡めることで、強固で安定した緑化を可能とする張芝工である。従来は、張芝、筋芝等に対応していた。</p> <p>本技術の活用により、施工性が向上し、工期短縮が期待できる。</p>	<p>キョーリックカー21</p> <p>キョーリックカー21断面写真</p>	日本植生(株) (岡山県津山市高尾573-1)
事後評価3	アライド	2009	2012	CG-120016-A	河川維持 - その他	既設石積の撤去・新設	<p>本技術は、石と石の隙間から機械式圧力で既設空石積の隙間及び背面空洞をモルタル注入によって補修、補強する技術であり、従来は、既設の空石積みを取り壊し、新たに練石積を再構築していた。</p> <p>本技術の活用により、既設石積に前面からモルタル注入が可能となり、経済性が向上と工期の短縮が期待できる。</p>		(株)あらい (広島市佐伯区湯来町下甲1125-4)
事後評価4	ハーフパイプ工法	2009	2010	KT-120016-A	地すべり防止工-集排水ポーリング工	ポーリング後に硬質塩化ビニール管を設置	<p>本技術は、溶融垂鉛めっき処理をし、鋼管上部をメッシュ状にした直接打ち込み可能な水抜きパイプで、従来はポーリング後に硬質塩化ビニール管を設置で対応していた。</p> <p>本技術の活用により、直接打ち込みが可能となり、経済性の向上が期待できる。</p>		フリー工業(株) (東京都台東区東上野1-3-1)